

退位2019年7月31日水曜

大田原往復 負担大きく



JR野崎駅にて森永氏(左)の話に耳を傾ける和久井氏(右)

森永さんの、課題点を素早く把握し私的する才能に、ほれほれしています。また、開発の者辯に合わせる人間臭さもあり、そういうことをひくくめて尊敬しています。【繁田】



森永氏

森永さん、定年お疲れ様でした。ここで院轄市サンキリヨ区の区政を振り返ってみますと、この五年弱のあいだに、区管理のきめ細やかさならびにライン業務におけるデザイナーのクオリティを、また一段と高めたいように感じております。なお、私個人にとつて森永さんのことも忘れられないエピソードは、新市長になられた際の拡大大CMにおいて、「抱負や意気込みを語られるか」と思いきや、「メモを片手に「系列変更」について滔々と説明をほじめられたことでした。しかし、その後和GUI伝説が始まることを思うと、このような公式セッションにおいて「ストレートには語らない」というのは、我が区の伝統芸、土着の風習なのかもしれない。これからは、ますますよりもお体を労り、健康管理にはどうぞお気を付けてください。【斎寧寺・押電和尚R.V.】

医療・産業機器から即日撤退

裕明さまと立さまに「お気持ち」伝える

定年お疲れ様です。僕が平成十五年に鳥取の田舎からキヤノンへ転職して(中略)、さらに目がチカチカするようなシヤツに派手な靴、小さなカバンの出でたちで、都会のデザイナー(中略)思いつくのは、残業中に、森永さんがどうしてもおなかをすいたといつて、圭太さんの机の上にあったお菓子を(中略)でOさんが泣いてしまつたこと、シリントラF UNCCでは(中略)一緒にまよかまさかのIF、GOLDをよっぱ中略GUIの話では、何かを決めるとき、6:4か7:3でまあいいと思うけど、という比率を使うセリフは便利なのでたまに活用させてもらっています。あと、GUIポタンの表現で、「今から実行したい内容が書いてあるポタンなのか」「実行中であること」を示している「ポタンなのか(長い)中略」GUIデザイナーの永遠の課題だね、という名セリフも印象的だ、確かにそうだなと(中略)たまにこのセリフを使わせてもらっています。趣味の話では(中略)私のチャレンジになります。よろしくお願いします。【和久井】

正解無き問の考え方

医療機器、産業機器といったプロフェッショナルに向けたUIの構築。それは、デザイナー自身が実体験としてとらえることのできないユーザー体験を限られた情報の中で想像し、自らで問いを作り、自らが答えていくこと。いわば正解無き問いに答え続けていくことと他ならぬ。実感を伴わない問いは、玉石混じりた多くの正解を導き出してしまう。しかし、正解は選ばなくてはならない。私がインタラ4に配属され、一番初めに印象深く感じたことは森永さんのいろいろな考え方。私にとつてプロフェッショナルUIのデザインは面白いと思ふ反面、確証が持てず案を選ぶにいくと感ずることが多くありました。「いろいろな考え方はあるけれど」という言葉は、煮詰まった考えを客観的に見直すきっかけになってくれます。去年よりお世話になりました。また1年半という短い期間ですが、非常に濃い経験ができました。本当にありがとうございました。【私立薬高】

難しさと大切さ

自分が思っているほど、自分の考えは人に伝わらない。これは社会人となつて、改めて気づいたことの一つです。人はみなそれぞれ異なる思考体系を持ち、共通の言語を通じて意思の疎通を共しています。学生時代は同じバックグラウンドを持つている人も多く、ニテンズでなんとなく伝えていたことも、社会人となり、仕事としてより繊細な情報の伝え方が必要になることを実感しました。そんな時に、森永さんの言葉の中で印象に残つたのが「何が言いたいか」ということ。フレーズでした。殊にデザイナーにおいては熱くなくて横に逸れがちな議論を、元の線路に戻す魔法のワードのように感じました。私は話しながら自分が何を喋っているかわからなくなることも多いのですが、このフレーズを意識することで、自分の伝えたい情報のうち最も重要な点に常に気を配り、そこに立ち返ることが大切さを、心に留めることができましたように思います。これからも「論理的に美しく」を念頭に置き、論理と美しさのバランスを取りながら気概を持って歩んでいきたいと思ひます。今まで本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願ひします。【みゆD】

猫

の再折返過ぎまた聞かせなさい。差し当たって共有席は空けておきます。眠くなつたらいつでもお越しくさい。今後本末をお世話になつたと思ひます。インタラ第四保健室 医療班吉野

定年、お疲れ様です

2013年からお世話になつていますが、いつもお酒の美味しいネタをいただきたりありがとうございます。8月はゆつくり療養していただけてまた一緒にできることを楽しみにしています。【正に幸せ★たいさ】

ひとにやさしく 重要度の高い お客様に合わせて お客様に合わせた 考え抜かれた 細部の作りこみと 無駄をそぎ落とした おもてなしを フィードバックする それが ゆ〜愛スタイルの ポリシーです。 店主 森永英彦

ゆ〜愛スタイル とりなが

営業時間 8:30~17:00 (午前中は不定休) 定休日 土・日・祝祭日 <http://www.sankiryoku.net/mg/>

今

フットボール

GOP 栗原

私はその人を常に「森永さん」と呼んでいた。だから此処でもただ森永さんと書くだけで本名は打ち明けない。これは世間を憚る遠慮というよりも、その方が私に取つて自然だからである。私はその人の記憶を呼び起こすことに、すぐに「そーですすねえ」と言いたくなる。筆を執つても心持は同じことである。私が森永さんと知り合つたのはインタラ4である。その時私はまだ氣力をしらない書生であった。ある日のこと、方針説明の場において私はその呪文と出合ったのである。ワット シュドゥ 愛トウ ナウ…ワット シュドゥ 愛トウ ナウ…ワット シュドゥ 愛トウ ナウ…「当たり前と思ふながら、これほどまでにキヤッチャーで心に染みる呪文に出会えたのは始めてであり、私はこの呪文に夢中になつたのである。今後森永さんからお授け頂いたこの呪文にお疲れまでしたの念を取りながら今後も日々の業務に打ち組んでいきたい、そう思ひながら。森永さん長い間本当にありがとうございました。教えて頂いたことをしっかりと今後に生かしていきたいと思ひます。

『第二の人生』をUXデザインだ

松原御大から緊急入電!!

定年は高校卒業のようなもの!

「還暦とは赤ちゃんとやらに還ること」

「飛んで火に入る」なんとやらの様相でも、なんとかなる!

英彦陛下の退位に際して、三気力の鼻祖であり「人間中心・庵中心」の松原御大からメッセージが届けられた。定年後の「いま、なにをするべきか」に対する答えがここにある。



①「還暦を過ぎる」

「三つの「還暦」
①「還暦を過ぎる」
②再雇用生活の過ごし方
③観音製作所外部者の視点
④「還暦を過ぎる」といつこの意味

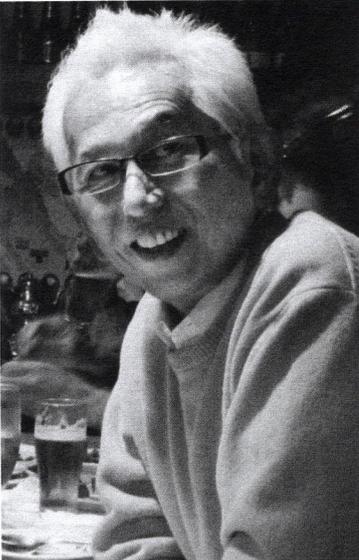
②再雇用生活の過ごし方

③観音製作所外部者の視点

④「還暦を過ぎる」といつこの意味

森永さん、定年おめでどうございます! 60歳となり人生一区切り、これからの第二の人生を楽しんでください。定年は、高校卒業と似ていると思います。今まで学校があつて同級生がいて、学校というシステムの中で一連の過程(仕事をこなしてきました。宿題のようなノルマさえありました。定年後も、高校から大学に進学するように、スクールに入って学び直す人もいます。でもこれからは、基本的にには、何をやるのが自由です!

今、世の中で騒がれている「最後の資金二千万円不足問題」ですが、その中に「飛んで火に入る」などとやらの様相で飛び込んでいくのは不安でしょうが、何とかあります。その趣意を、先輩の立場から申し上げます。視点は次の3つです。



【上】一足先に赤ちゃん化した松原御大。



【参考】人生初年度を、三気力スタートダッシュで乗り切ろうとするリアル赤ちゃん。

②再雇用生活の過ごし方

「第二の人生」は自分で設計しなければなりません。まさに「自分の人生をUXデザインすることになります。再雇用は、その助走期間のようなものです。その再雇用を過ごしながら、自分の人生とやりたい事などを考え、家族との時間を過ごし、これからの人生を彩りあるものにするためのものです。今はまさにそのスタート地点にいるのです。逆に言えばそれ以上でも以下でもありません。会社からお祝いなど届きますが、形式的なものです。「定年」というターニングポイントを期に、否が応でもスタートの号令はかかっています。

再雇用は第一の人生の助走期間のようなものであり、安定収入が得られるので、落ちついてじっくり考えることが大切です。

森永さんの場合は年金を繰下げてでも支給開始は64歳なので、再雇用で働くのは必要不可欠のような感じでしょう。でも安定的に収入を得ることは大事です。キヤノンにいたメリットを甘受するの悪くはないと思います。

ところで、再雇用でやる仕事は「自分で決めること」になります。私もやりましたが、自分の関心事を棚卸してマップのようなものを作つてはいかかと思えます。そのマップに沿って宿題を自分に課すわけです。そう考えるとゲームみたいで結構楽しいですよ。

繁神電車

暗環境向け茶色飲料。

明環境向け茶色飲料。

今月のお題 「〇〇的」

選者 繁大三段 美しく 論理的な友愛は 僕と君 理想的には ウイン・ウイン (大文字のイのイメージで詠め)

君のソレ スタイル的には どうなのヨ?

イロ-光下向けも、この秋登場!!

課外授業★ようこそ先輩

平均的な生活をしていると毎月5万円足りなくなる!?

「マルステ先輩(以下、マ)役職がなかった人はともかく、特に管理職だった人は立場が逆転するわけですから、ちよつとした喪失感のようなものは多かれ少なかれあるでしょう。でも、すぐ慣れますけどね。」

「再雇用者で、周りの方の評判が良い人」というのは、やはり、仕事自体を楽しんでいる人で、後輩に良い刺激を与えている人かな?



【上】第3回・琵琶法師コンテストで弾き語り説法中のマルステ先輩。演奏中も、ポスト選暦ライブをピピッと忘れず照射するぞ。

「よく、「再雇用後には、人間関係や金銭感覚などが変わる」と聞きます。具体的に、どのように変わるのでしょうか?」

「給料は本当にトホホ...(以下、聞き取り不能)な金額しかもらえませんか。」

「そんな、夢の欠片もありませんね。」

「マ」そのような状況で、過去の自慢話や、文句ばかり吐いて疎んじられ、拳句に仕事もつまらないとなると、普通は嫌になっちゃうんですよ。まあ、自分なりの居場所をしっかりと築ければ、言い換えれば何を提供できるのかを周りに示すことができるれば、自分も周りも人間関係でそんなにギクシクシしなくて済むのではないのでしょうか?

立場は逆転、ちよつとした喪失感は不可避?
マルステ先輩が語る「再雇用後のリアル」

自慢話や文句はマイナス。提供価値の明確化がポイントに

再雇用後、多くのサラリーマンは、それまでとは異なるパラダイムの中に放り込まれ、身の回りの多くのものが大きく変わってしまうという。そのような中を、選暦を超えた企業戦士のようにサバイバルしていけばよいのか。今回は、再雇用ライブ専門アナリストであるマルステ先輩に、そのイロを訊いてみた。聞き手・斎藤寺住職押電和尚R&X

私の履歴書マルステ先輩

2010年代初頭、当時枯れつつあった技術を組み合わせることでマルステ旋風を引き起こした、伝説のニコイチ業者。暖簾分けした丁稚に「斎藤寺(さいねいじ)〜チーズはどこにいった?〜」「非常瀬川」など多数。2018年の店じまい後は、マルコのモーツァルトとして、環境音楽による「僕の地球を守って」運動、写真機の鳴き声再現に尽力。地盤評論検定1級ライセンス保持。正論を貫くインタラ界の良心。

- ①健康であること
 - ②一生楽しめる趣味を持つ
できればプロレベルに
 - ③「会社以外」の人脉を持つ
- 「マ」そうですね、よく言われることですが、

①に関しては言わずもがなで健康なくして日々の生活はあり得ません。病気になるらないように日ごろから気を付けたいものです。食事をしっかりとバランスよくとり、ストレスをためない、化学物質をできるだけ避ける、サプリや薬に頼らないとか、適度な運動など自分でできることはやるようにしています。

②は人それぞれだとは思いますが、趣味を通じた仲間がいればさらに良いかと思えます。趣味を通じた仲間は一緒にいて楽しいし、会社という組織に縛られない関係を築けるし、自分自身の活動の幅が広がります。その中にプロやプロレベルの知識を持った人がいればいろいろな教わることができまますし、なにより趣味でのスキルアップが図れ生活が充実すると思えますね。「せひ」は定年にならなにかやろう。「せひ」は若いうちから何か打ち込める趣味を持つことをお勧めします。

③は学生時代の友人でもよいですし、仕事や趣味で知り合った仲間でもよいですが、家族や会社以外でいろいろな一緒に遊んだり、相談事を話せる仲間がいると充実した生活を送れるかなと思います。私自身も今そのような仲間とお金はないですが、充実した生活を送れています。会社の肩書などは仕事を離れたらよほどのVIPでもない限り役に立たないですから。

最後に、先日、炎上・撤回騒ぎでニュースを賑わせた「老後資金として二千万円必要」事件、正確には金融庁金融審議会の報告書「高齢社会における資産形成・管理」の件についてはどのようにお考えでしょうか?

「マ」あれは単に平均的な年金をもらっている人が「平均的な生活をする」と5万円足りないよという、良くある試算で、足りない分は自分で何とか貯めなさい、といった報告書です。国会でくっだらない低レベルな議論をやっていますが、老後資金が公的年金だけでは立ち行かないのはみんな分かっているはずで、そのために個人や国が年金をどうしてゆくの議論が年々きつくなっている。くだらない議論をしているだけでこれこそ税金の無駄遣いだと思えます。

資産形成に話を戻すと、個人的には家以外を資産でほとんど持っていないので成功談にもなりません。確定拠出年金や個人年金、あとは金融商品などをうまく組み合わせれば定年までには、それなりに貯められると思います。

まあ、長い人生ですので結婚や子育て、住宅ローンや愛車の購入、病気などの思わぬ出費が必要な場合もあるでしょうが、とにかく若いうちから毎月1万円でもよいのでコツコツ貯めておくことをお勧めします。加えて、インテックスファンドなど、長期で運用益が増やせる金融商品も検討するとかよいのではないのでしょうか。あと、勤務先が用意している確定拠出年金制度も戦略的に使うべきかな。実際、ほとんどの人はほったらかしなんじゃないかな? あとは若いうちに無駄遣いをしないことか、かな笑

— ありがとございました。

サンキリヨ区、和GUI環境へ移行

ワグイとワタシ 演奏中の踊り狂う姿に衝撃

七月一日午前零時、院轄市サンキリヨ区中央管理コンピュータ太に、新オペレーティングシステム「和GUEビルドナンバ3.33。通称ワッキントッシュ」がインストールされた。本紙では、現在サンキリヨ区に滞在在外研究中の吉田博士に、和GUEとワグイ氏の生誕について詳しく伺った。(聞き手ジャーナリスト 押合信彦アサヒスピードライイシなま)



吉田 博士

「聞くところによればワグイ氏とはイマイ芸能の芸人育成機関『陣中』で知り合ったということだそうですが、そもそもなぜ吉田博士は陣中に入ろうとしたのか？」

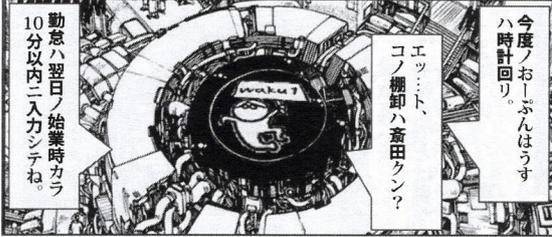
「吉田博士以下、吉田」実は新人配属の自己紹介のときに、うっかり「中学時代には吹奏楽部に所属していました」としてことを言ってしまったところ、時の権力者であるイマイ組長からモレツな勧誘を受け、盆を交わすことになりました。…選択肢は無かったですね」

「はい」ボタンしか提供していないウインドウズのダイアログみたいですね。UD組長とは思えない仕様です。イマイ組長にはイジメられたりしていませんか？」

「吉田」前回のライブで強制的に「港のヨーコ」ヨコハマヨスカのボーカルに指名されました。それも、歌詞の内容と私ではキャラ設定が全然違うじゃないですか。それで観衆の面前で大恥をかかされいま流行りのPTSDになりました。…唯一の心残りです。

「吉田」「陣中の練習見学で初めて接触しました。事前に他のメンバーから『陣中にはワグイなる個性的な人物がいる』と聞かされていたんです。…というものの『常識的な範囲』であるじゃないですか。だから、その時はあまり気に留めていませんでした。けれど、実際に初めてその姿を見たときには、…衝撃を受けましたね。」

「吉田」「はい、実際には演奏中に楽器を吹かずに踊り狂っていたのです。最初は、出世の道を諦めた人か何かだろうかと思っていたのですが、あとで聞いたところ、れきととした役職者の一人であることがわかり、再度ビックリしました。マジメを売りにしようとしていた観音製作所のイマイジが音を立てて崩れていった瞬間ですね。半面、ワグイ氏の興味を持つキッカケにもなりました。」



【上】勤怠管理、柵卸からオープンハウス運営まで、区民のくらしに安寧をもたらす多機能コンピュータ「ワッキントッシュ」。

「吉田」「すごい質問ですね。ここだけの話、表面向きには旧イマイ組との連携強化を謳っています。が、ホンネは未知なるワグイ氏の観察を目的としたフィードバックです(キッパリ)」

「吉田」「好きなもの…お風呂上がりに飲むコーラ、一人旅●嫌いなもの…満員電車特に東横線の快速、通勤特急は寿命が縮むため極力乗りません●趣味…ホットヨガ、料理●経歴…落花生王国出身。ジャポニカ大学を経て観音製作所に入所しました。」

「吉田」「1位…オーストラリアー初留学(超短期ですが)、初海外！全てが新鮮でした。●2位…イタリアーすれ違う人全員が美男美女！男性がとつても優しい●3位…ベトナムーどんなに汚い屋台の料理でも全部おいしい！今後の予定としては、来年1人でヨーロッパのどこかの田舎町に行つてみたいと思っています。」

「吉田」「はい、実際には演奏中に楽器を吹かずに踊り狂っていたのです。最初は、出世の道を諦めた人か何かだろうかと思っていたのですが、あとで聞いたところ、れきととした役職者の一人であることがわかり、再度ビックリしました。マジメを売りにしようとしていた観音製作所のイマイジが音を立てて崩れていった瞬間ですね。半面、ワグイ氏の興味を持つキッカケにもなりました。」



「サトー立体」所属のヨンチューパー、サトー・麻衣子氏より、コングラチュレーションなメッセージが届けられた。ここはひとつ、ルー語辞書を片手に、グローバル人材風味の片鱗に触れてほしい。

このたびは、かんのん・いんくからのグラデュエート、おめでとうございます。森永さんとはキャンディデートの頃からとなりますので、もうフォーティーン・イヤーズほどのお付き合いになるかと思えます。アサインメントのフィードバックの時点で既にグラフィックスのスキルに対してもう少しエフォートが必要とご指摘を頂き、ジョインしてからもドットィド・アイコンの作り方からドットィド・フォントのデザインまで、さまざまな事を教えて頂きました。

沢山のエデュケーションを頂いたにも関わらず、大したエフォート、レスポンスを感じさせられず申し訳ありません。レスポンスな3KRめんばーずが、今は「もりなが・い・ず・む」のオフィシャルなサクセサーとしていらっしやるので、きっと森永さんも安心してご卒業頂けるのではないかと存じます。

しかし、こんな私でも森永さんから学び、今でも息づいているものもちゃんあります。それはワークスタイルです。コーディネート・ツールなどのイノヴェーティブなツールを活用し、まさにエフィッシェントなワークスタイルを実践。あの時代のザパニーズ・ビッグ・カンパニーに於いてはレアなヴァリュウであったと思います。

「ノウリターン、ゴウダイレクツウリイ」などによるウェイスト・リダクションズの姿勢はまさにパイオニアかと思えます。私の働き方に関するヴァリュウの原点はここにあるかと思っております。そのナチュラル・ポォンなセンスと、類稀なるコミットメント力をネットジェネレーションへ伝えるべく、これからも「もりなが・すたいる」で頑張つて下さい。

**NO RETURN
GO DIRECTLY**